

見直しのポイント

■国際情勢の変化に対する現状や課題の把握が必要

- ・道内経済や道民生活に及ぼす影響の把握
- ・国際情勢の変化に対する現状や課題、対応状況の整理
- ・有識者や関係団体から意見や情報等の提供を受けられる仕組みづくり

対応の方向

●関係団体等との情報共有の仕組みづくり

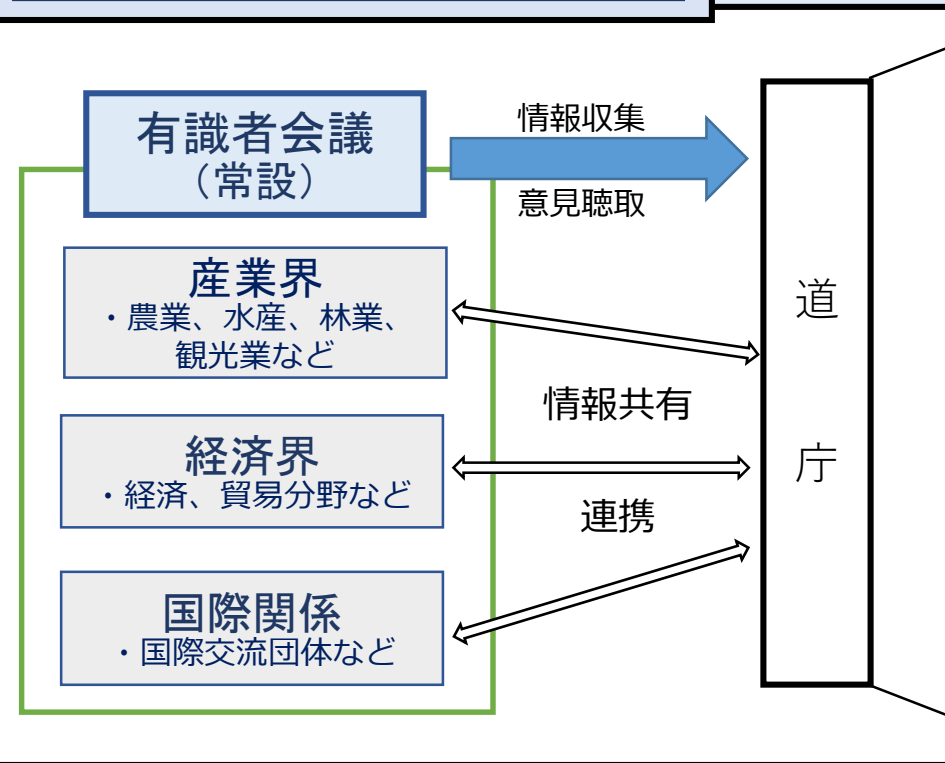
- ・国際情勢の大きな変化に迅速に対応するため、有識者や関係団体との迅速な情報共有の仕組みを構築

●庁内連携体制の強化

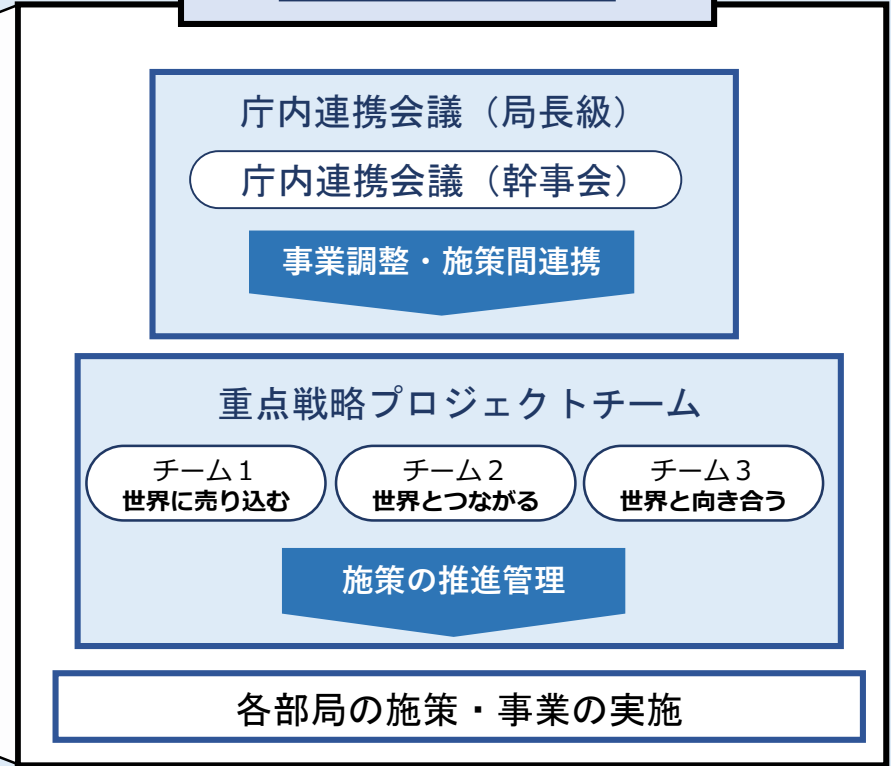
- ・庁内会議等を見直し、全庁的な連携体制を強化

取組イメージ

関係団体等との情報共有の仕組みづくり



庁内連携体制の強化



方向性② 国際情勢の変化への機動的な対応

見直しのポイント

■国際情勢の動きを見極めながら的確な対応が必要

- ・今後も起こり得る国際情勢の変化に、柔軟かつ機動的な対応の強化や施策の実施

対応の方向

●リスク対応力の強化

- ・リスク対応に関する知見やスキルの向上を図る施策を実施

●グローバルリスクに対応した施策の推進

- ・本道産業の国際競争力の強化や力強い農林水産業づくりを推進するため、食料の安全保障や燃料の高騰対策など、機動的な国際情勢の変化に対応した施策の実施

取組イメージ

大きな国際情勢の変化 グローバルリスク

- ・顕在化したリスクへの迅速・柔軟な対応
- ・今後起こり得るリスクへの備え

リスク対応力の強化

《参考事例》

- リスクに対応するノウハウの共有
- 関連セミナーや研修の実施
- 関係者間の情報収集・情報共有
- 道民・道内企業等からの相談対応

など

グローバルリスクに対応した施策の推進

《参考事例》

- エネルギー・原材料安定供給対策
- 食料安全保障に関する検討
- 生産基盤の強化や農林水産物の競争力強化
- 中小企業や生活困窮者支援
- ロシア関連企業のノウハウ等を応用できる他国展開の可能性検討

など

方向性③ 施策推進管理の徹底

見直しのポイント

■リスクに対応した的確かつ効果的な取組の実施が必要

- ・施策のPDCAなど、刻々と変化する国際情勢に対応した施策の見直し

対応の方向

●各分野の事業を効果的かつ効率的に推進するため、施策のPDCAなど、毎年度施策の見直し（ローリング）を行う仕組みづくり

- ・戦略の視点毎に設けたプロジェクトチーム（PT）の場で、庁内横断的に施策の進捗・課題の共有を定期的に行う
- ・施策間の連携、実施方法の転換などにより、変動する国際情勢に機動的に対応

取組イメージ

PT視点①
世界に
売り込む

PT視点②
世界と
つながる

PT視点③
世界と
向き合う

Plan

対応方向毎に施策を整理

- 対応方向毎に、**重点テーマやねらい**、当該年度における国際関連**施策を整理**
- 当該年度の施策の**実施内容・方法・スケジュールを整理**

Do

各施策を実施

Check

進捗・課題の整理・検証

- 定期的に**進捗状況**とその**背景**を整理（順調、やや遅れ、遅れ）
- 進捗の背景が国際情勢に起因するものについては、施策間で連携すべき点、実施方法の見直しを要する施策がないか**検証**

Action

施策間の連携や・実施方法の見直し

- すぐに反映できるものは**年度中でも適時施策の実施方法に反映**
- 施策自体に見直すべき点が生じた場合は、**次年度に向けた方向性**として整理

有識者の意見

機動的に情報収集して
検証や見直しに反映

※各部における施策の推進に加え、
庁内連携の視点から、次のとおり施策推進管理を徹底

Plan：各PTにおいて重点テーマ等や施策を整理

Check：各PTにおいて進捗管理・検証

Action：各PTにおいて見直し状況を整理、連携会議（幹事会）が統括